

# 特 別 活 動（ホームルーム） 指 導 案

## 題材名「自ら守れる自分になろう！」

令和 6 年 11 月 27 日（水） 第 5・6 校時(13：35～15：25) 第 2 学年

指導者 野田 正司

### I 題材の構想

#### 1 題材観

本題材は、高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）第 5 章 特別活動 第 2 各活動・学校行事の目標及び内容〔ホームルーム活動〕2 内容（3）一人一人のキャリア形成と自己実現の「ウ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成」に基づくものである。また、高等学校キャリア教育の手引き（文部科学省）にある育てたい基礎的・汎用的能力のうち「人間関係形成・社会形成能力」の向上に注目したものである。

社会人として勤務するにあたり、コンプライアンス（法令順守）は切っても切り離せないものである。そして、安全安心に社会生活を営むためには、「法令を遵守する」ことが大切であると考え。

本授業において、高校生が校則を守り生活することが、社会人として、法令を遵守することの準備につながることを理解してほしいと考える。また、校則、法令が存在する意味を理解することで、自主的に守ることへの意識自体に価値があり、この意識が社会での実践に役立つことを学ぶことができる考え、本題材を設定した。

#### 2 研究との関わり

研修先の株式会社ヤマト（以下、ヤマト）は昭和 21 年 7 月 12 日に設立、従業員数 1,103 名の群馬県を代表する建設会社である。北は東北地方から南は関西地方まで、支店が 7 か所、営業所が 13 か所あり、その他、教育センターをはじめとした附属施設 5 か所、グループ会社が 10 社と大規模に展開している。業務内容は建築、土木、空調、衛生、冷凍、冷蔵、上下水道、水処理、温浴に関する業務全般と多くの技術を保有している。4 月と 5 月は、ヤマトの新入社員と新入社員研修を受講した。ヤマトの新入社員研修は、一年間の長期にわたり実施されており、他の企業と比較しても手厚い内容となっている。4 月と 5 月新入社員研修に参加し、ビジネスマナーをはじめ、業務に関する基礎知識を学んだ。6 月からは現場での研修を行い、浄水場の新築工事現場に配属され、現場監督の視点から様々な業務を学ぶことができた。

今までの教育センターでの座学や現場の研修を経て、生徒に伝えたいと感じたことは「コンプライアンス」の重要性である。コンプライアンスはどのような職種、業務内容にも存在するものであり、法令を守ることにより、自分が守られ、社会が守られる。このコンプライアンスを理解し、その意識を醸成することが、キャリア教育の「社会的、職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力」を身に付けることにつながると考え、本題材として活用することにした。

#### 3 題材の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
思考力、判断力、表現力等	校則がもつ意味を理解し、その経験を基に、コンプライアンスに対し積極的に自ら遵守しようとする姿勢を表現できる。	・コンプライアンスという言葉自体を知らない生徒が多い。 ・校則の意味を十分理解していないため、慣例になっている生徒が多い。

#### 4 評価規準

思考・判断・表現	・ワークシート記入、グループワークの積極的な参加を通じて、決まりごとがもつ意味を考え、判断し、自ら遵守しようとする姿勢を表現している。
----------	---

## Ⅱ 本時の学習

- ねらい 校則やコンプライアンスを通して、決まり事のもつ意味を考えるきっかけを作り、その本質を把握し、自ら遵守しようとする姿勢を育む。
- 展 開

主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 研修先企業・研修内容の紹介を聞き、本時の目標をつかむ。</p> <p style="text-align: right;">（導入 15 分）</p> <p>○株式会社ヤマトの紹介及び研修内容を聞く。            S：よい会社を知ることができたな。            S：一つの会社にいろいろな仕事があるな。            ★プレゼン資料を見る。            ○本時の流れと目標をつかむ。            ○アイスブレイク（伝言ゲーム）を行う。            S：伝言って難しいな。            S：うまく伝わって嬉しい、楽しいな。</p>	<p>○研修先企業に興味をもってもらえるように企業紹介、研修の内容や、代表的な施工例を提示する。            ○企業での研修から「コンプライアンス」について興味をもち、本題材に採用したことを説明する。</p> <p>○プレゼン資料を投影する。            ○伝言ゲームを行うことで、雰囲気のを緩和し、コミュニケーションがとりやすい環境づくりを心掛ける。            ○クラス半分、クラス全体で一度ずつ実施する。</p>
<p>2 学校の校則について「校則がもつ意味」を考える。</p> <p style="text-align: right;">（展開①35 分）</p>	<p>◎校則を文章で提示し、内容の確認をさせる。</p>
<p style="text-align: center;"><b>目標 校則がもつ意味を考え、自ら守ろうと思う姿勢をつくろう。</b></p>	
<p>○事前アンケート結果を見る。            S：自分の考えが大体みんなと一緒に良かった。            S：全然違う考えの人もあるのだな。            ○校則を確認するため、ワークシートに解答する。            （3 問程度）            S：こんな語句が入るのか、知らなかったな。            S：こんな校則あったのだな。</p> <p>○プレゼン資料にて回答を見る。</p> <p>★Canva を準備する。            ○各クラス内でグループ（5、6 人程度）に分かれ、クイズで使った校則の中から意味を考えたいものを 2 つ選ぶ。</p> <p>○Canva にグループの考えを入力して投稿する。            S：校則の意味って考えたことないな。            S：意味を考える必要あるのかな。            ○各グループの考えを Canva で共有する。            S：いろいろな考え方があるな。</p> <p style="text-align: center;">～休憩～</p>	<p>○話題に出やすい校則を選ぶようにする。            ○白紙ではなく、できる限りの記入を促す。            ○文章の一部を空白にし、クイズ形式に工夫する。</p> <p>○Canva を投影する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆評価項目</p> <p>校則のもつ意味を積極的に考え記入している。          &lt;ワークシート（思判表）&gt;</p> </div> <p>○なるべくグループ全員の考えがまとまっているような考えを出すよう指示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆評価項目</p> <p>個人の意見をグループ内で積極的に発言できている。&lt;グループワーク（思判表）&gt;</p> </div> <p>○同じ校則で異なる解釈をなるべく多く提示し様々な考え方があることを知ってもらう。            ○正解、不正解はなく、校則の意味について考え、理解しようとする姿勢が大切であることを伝える。</p> <p style="text-align: center;">～休憩～</p>

<p><b>3 コンプライアンスについて学ぶ。</b> (展開②35 分)</p> <p>○コンプライアンスと校則の関連性を理解する。</p>	<p>◎様々な事例、ヤマト社員のオンライン講話を通じて、コンプライアンスについて学ぶ。</p> <p>○校則とコンプライアンスの関係性を説明し、滞りなくコンプライアンスへの導入を行う。</p>
<p><b>目標 コンプライアンスの意味を考え、本質を捉えられる人物になろう。</b></p>	
<p>○ヤマト社員のアンケートを見る。</p> <p>★コンプライアンス関連の事例を Kahoot! で回答する。</p> <p>S : ごみ捨てもコンプライアンスに関係するの か。</p> <p>S : コンプライアンスって難しいな。</p> <p>○ヤマト社員のオンライン講話を視聴する。 (総務部部长)</p> <p>★Google Meet にて講話を視聴する。</p> <p>S : 部長だって。すごいな。</p> <p>S : コンプライアンスが少しだけ分かった気がする。</p> <p>○代表生徒 1 名、オンライン講話について質問をする。</p>	<p>○業務中、私生活のコンプライアンスに対する意識と内容について学ぶ。</p> <p>○Kahoot! (クイズ形式) を投影する。</p> <p>○一般的な事から学校生活に関する内容まで出題しコンプライアンスの幅広さを知るための工夫をする。</p> <p>○総務部部长からの講話の内容をメモに残すように指示をする。</p> <p>○Google Meet に切り替え、投影する。</p> <p>○感じたことや疑問点など発言できるよう促す。</p>
<p><b>4 振り返り</b> (終末 15 分)</p> <p>○Chromebook を班で共有し、本時で記憶、印象に残るキーワードを 2 つ入力する。</p> <p>○入力結果の共有をする。</p> <p>★テキストマイニングを見る。</p> <p>S : この言葉が一番多いのだな。</p> <p>S : 今日はこの言葉を覚えてよかったな。</p> <p>○振り返りの話を聞く。</p> <p>○ヤマト社員の話を聞く。 (人事課主任)</p> <p>S : ただ、守るだけではダメなのだな。</p> <p>S : 社会人の話は現実味があって面白いな。</p>	<p>○スプレッドシートに簡潔に入力してもらう。 端末が一班一台のため、共有して入力する。</p> <p>○テキストマイニングを投影する。</p> <p>○社会に出るため、高校生から準備できることがあることを強調する。</p> <p>○社会の先輩としての話をしっかり聞くよう促す。</p>

### 3 板書計画

授業ではプレゼンテーションソフトを使用。

本指導案に掲載されている商品又はサービスなどの名称は、各社の商標又は登録商標です。

Kahoot! は、Kahoot! ASA の商標又は登録商標です。

Canva は、Canva Pty Ltd. の商標又は登録商標です。

Google Meet、スプレッドシート、Chromebook は、Google LLC の商標又は登録商標です。

なお、本文中には ™ マーク、® マークは明記していません。